# 特記仕様書

## 1. 総則

本特記仕様書に記載している事項の他、日本建築家協会編「建築工事共通仕様書」(1974年度版)及び関連設計図並当市監督員及び監理技師の指示に従い誠実に施工し工事期間内に完成しなければならない。

工事名称　寝屋川市立和光小学校増築工事
工事場所　寝屋川市黒原橘町449番地
建物概要　鉄筋コンクリート造4階建
敷地面積 16800.000m²　建築面積 322.960m²　床面積 1136.190m²

工事範囲
1.建築主体工事　6.屋外工事(移設も含む)
2.電気設備工事　7.家具装飾工事
3.給排水衛生消火設備工事　8.ポンプ室増築工事
4.ガス設備工事　9.浄化槽工事(槽は建築工事)
5.撤去工事(既設との取合部その他)補修も含む　10 既設建物ガラス入替工事(網入ガラス)

発生材　発生材が生じた場合、速やかに調書を作成して係員の指示を受ける。
支給材　ナシ
施工基準　本工事は契約書に基き A 現場説明事項 B.本仕様書 C.設計図 D.共通仕様書により施工する。各記載事項に相違が有る場合は、A.B.C.D の順序とする。
協力業者　協力業者の決定については予め協力業者名簿を係員に提出して市係員並びに監理技師の承認を得る事。
標識　工事現場の人目につき易い所に建設省令及び建設業法で定める標識と所定の大きさ、色調の寝屋川市工事部建築課並に(株)福永建築設計事務所の標識を掲げる。
工程表・他　工事着手前々工程表は後7日以内に各3通提出し、係員の承認を得る。工事中は工事報告書を提出する。作業時間、休日等についても係員と打合せ承認を得る。
工事写真　工程写真　モノクロ　手札型　6ヶ所以上　2部　毎週1回に提出
竣工写真　モノクロ　キャビネ型　6ヶ所以上　3部　竣工后7週間以内
〃　カラー　キャビネ型　6ヶ所以上　3部　仝上
火災保険　金額及び被保険会社は係員の同意を要する。掛金は請負業者の負担とし受取人は建築主とする。
メーカー材料指定　本仕様書にメーカー又は材料指定してあるが、それ以外のメーカー、材料については変更願書(理由書、カタログ経歴書等)を係員に提出する。検討の結果、係員が同等と認めた場合に限り、使用する事が出来る。
竣工未済調書　工事完了届は竣工時3通提出する。止むを得ず工期内に完成しない時は、その未済部分を係員立会の上、調書3通を作成して理由書を提出する。尚、未済事項は指定の期日迄に滞りなく完成させ係員の検査を受ける。
竣工図　竣工図は原図及び第2原図各1部、製本(B-5版 黒表紙 金文字)2部を提出する。
現場代理人　現場代理人は1級建築士で予め経歴書を提出し監理技師の承認を得る。現場代理人は現場に常駐する。

## 2. 仮設工事

基準地盤　係員が現場にて決定。
仮囲　図示による。但し無記なる場合は係員の指示による。
係員詰所　床面積25m²程度とし、係員の承認を得て建てる。詰所には机・椅子(予備を含む)、書棚、見本棚、黒板、製図用具、事務用品、消火器その他、諸設備を係員の指示により備える。
工事用仮設物　詳細は係員の指示による。

## 3. 土工事

残土処分　場外搬出とする。(但し良質土は係員の承認を得て埋戻しに使用可。
埋戻し盛土　係員の承認した山砂真土とする。

## 4. 杭地業工事

杭耐力　設計耐力 67.8 t/本 とする。
杭種別　プレストレス遠心力鉄筋コンクリート杭(材令28日以上)　Φ400　ℓ 22.0　試験杭 Φ400　ℓ 24.0 (2ヶ所)
杭打工法　ベントナイト併用セメントミルク注入工法(モンケン式)。継手、半自動溶接継手とする。
試験杭　試験杭は図示による。その他係員の指示による。
試験杭は本杭に兼用するが(係員立会の上)打止結果所要支持力に達しない場合は長さの変更を行なう。又最終沈下量は係員と相談の上決定する。
本杭打　試験杭の結果、係員の指示のもとに本杭打を行なう。又最終沈下量は各杭毎に測定し係員の承認を得る。
杭先端　杭先端は支持層内に300m/m以上貫入させる事。
杭頭処理　杭頭切揃えはノミ切とし周囲から平等に打撃を加えて上端をなるべく水平にし、鉄筋は所要長さを残し、残余は切断する事。
杭長さの増減　杭長さに増減を生じた場合は杭長さ(総杭長)の10%以内では金額の増減をせず。但し10%を超える部分については増減する。
製造所　アサノポール、日本コンクリート、日本ヒューム管、近畿コンクリート、大同コンクリート、久保田コンクリート、大洋コンクリート
原則として杭打は杭製造会社の責任施工とする。

## 5. コンクリート工事

圧縮強度　4Fc = 210kg/cm²　但、セメント使用量は 270kg/cm³以上とする。
混合材料
無筋コンクリート　4Fc = 150kg/cm²
製造所　JIS認定工場。
強度試験　3日、1週、4週を行ない、その他係員が必要と認めた場合は指示による。
試験体　150×300の試験体を使用する。
試験練　試験練は行なうものとする。

## 6. 鉄筋工事

鉄筋規格

| 使用ヶ所 | 主種別 | 規格 | 製作所 |
|---|---|---|---|
| 図示による |  | SR24　SD35 | 新日本製鉄、川鉄、住友 |

強度試験　供試体は各種6本とし引張、曲げ試験を公共工業試験場で行ない、合格証を提出し承認を得た後、加工する。

## 7. 組積工事

規格　コンクリートブロックはC種とする。⊕100、⊕150 (JIS規格品)
配筋　タテ、ヨコ共 9Φ @400 とする。

## 8. 防水工事

アスファルト防水　屋上歩行用 KP-2 (9層 15年保証 同協会仕様)
室内便所 KID-1 (6層 〃 )
日本アス防水工業組合、西日本アス事業協同組合、加入業者の責任施工とする。
コーキング　図示ヶ所及び図示なくても外部建具廻りは10×10m/mのコーキングを施すこと。
エバシール、ボーレックス、ABC商会、又は同等品以上

## 9. タイル工事

種別　磁器モザイクタイル、半磁器タイル(100角色)、ノンスリップタイル
メーカー　伊奈、淡陶、有田

## 10. 木工事

記入寸法　仕上寸法とする。
散り決り　壁面押り及び取合部分は散り決りとする。
ラワン材　防虫処理　キシラモン又は同等品以上。

| 区分 |  | 使用ヶ所 | 等級 |
|---|---|---|---|
| 構造材 | 見え隠れ材 | 胴縁 | 杉小節 |
|  | 〃 | 床下 大引、根太 | 桧小節 |
| 造作材 | 塗装下地材 | 枠 | 〃 |
|  | 〃 | 棚類、カーテンBOX | ラワン1等 |
|  | 〃 | 巾木 | 桧小節 |

図面に特記なき限り上記に依る。
防腐材　コンクリートに接する部分にはキシラモン又は同等品以上塗りとする。

## 11. 金属工事

防錆処理　外部に取付ける金物類は全て亜鉛メッキを施す。但し明記ある場合は設計図による。
防蝕処理　非鉄金属等でこれに接する他の材料により腐蝕する恐れのある場合は防蝕処理を行う。
材料指定

| 材名 | 材質 | 形状 | 寸法m/m | メーカー |
|---|---|---|---|---|
| インサート | 亜鉛鍍鉄板 | 箱型 |  | 丸井、くく、トバ |
| カーテンレール | ステンレス | C型 |  | 東芝、ヨコタ(召合せ部はダブル) |
| ノンスリップ | ステンレスゴム入 |  |  | ナカ工業 |
| ダストホッパー | ステンレス |  |  | 協和 |
| 軽鉄天井下地 |  |  |  | マンテン、近藤金属 |
| ルーフドレン | 鋳鉄製 | 竪型 | Φ100、Φ75 | ニッコー、第一、長谷川 |
| マット枠 | ステンレス | 6m/m | 1.870×900 |  |
| アルミマット | アルミ |  | 1.870×900 |  |
| 〃　床下点検口 | アルミ | 450角 |  | マンテン、ナカ工業 |

## 12. 左官工事

防水モルタル　ロータス、アスミュー、ウォータイト、ランゲン、マノール、マイゾール
吹付材料　吹付材料はアクリル系リシンとし、メーカーは近藤化学、恒和化学、菊水化学
モルタル　図中モルタルとあるのはモルタル金ゴテ押へとする。モルタル接着材の上施工。

## 13. 金属建具工事

| 種別 | メーカー |
|---|---|
| 鋼製建具 | 三協工業、大橋サッシュ、日本スピンドル、淀川、不二 |
| アルミ製建具 | 不二、昭和アルミ、日本スピンドル、三協アルミ、淀川 |
| 教室間仕切 | 日本スピンドル |

建具金物

| 種別 | 材質 | メーカー |
|---|---|---|
| シリンダー円筒錠 | 鋳金 | ゴール、ミワ、昭和金属 |
| 箱錠及び他錠 | 〃 | 仝上 |
| フロアヒンジ | 〃 | ニュースター、ニッカナ |
| 丁番、握り玉 | 〃 | ゴール、エニオン |
| ピボットヒンジ | 鋳鉄製ステンレスカバー | ニュースター、ニッカナ |
| ドアチェック | 〃 | 仝上 |
| 押板 | ヒドロ | エニオン |
| 取手、引手 | ステンレス及び真鍮 | エニオン、ゴール |

全て見本品を提出の上決定する。

## 14. 木製建具工事

合板

| 使用ヶ所 | 種 | 等級 |
|---|---|---|
| W.C | 1 | 1 |
| 上記以外 | 2 | 1 |

建具金物　鋼製建具金物に準ずる。

## 15. 硝子工事

板ガラス　旭、日本板、セントラル

## 16. 塗装工事

メーカー　関ペ、日ペ、神東、大日本、東亜

## 17. 内装工事

材料指定

| 材名 | 品質 | 寸法m/m | メーカー | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ブナフローリングブロック | 1等 | 15×300×300 | 農林規格品 |  |
| アートフロアー |  |  | 中外商工 |  |
| 桂ベニヤ |  | 6 | JIS規格品 |  |
| ラワンベニヤ |  | 5.5 | 〃 | タイプⅠ |
| ゴールデンナストン |  | 9 | 日本ハードボード工業 |  |
| プラスターボード |  | 9 | JIS規格品 |  |
| アスベストラック |  | 6 | 日本アスベスト |  |
| 有孔プラスターボード |  | 9 | 吉野石膏、千代田建材、三井 |  |
| メラミン化粧板 |  | 1.6 | 松下、住友 | 見本品により決定 |
| 木毛板 |  | 25 | 日本ドリゾール |  |
| 発泡スチロール |  | 50 | セキスイ |  |

## 18. 雑工事

材料指定

| 材名 | 品質 | 寸法 | メーカー | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 行事黒板 | アルミ枠・スチール製 | 図示 | 吉井黒板、久保黒板、レイメイ | 行事用線入 |
| 掲示板 | 〃 |  | 〃 | ナイロンスポンジシート貼 |
| 黒板(曲面、平面) | 〃　曲面のみスチール製 |  | 〃 | アルミ製チョークBOX |
| ピクチャーレール | アルミ |  | 〃 |  |
| 物掛パイプ | ステンレス |  | 見本決定 | フック4ヶ付 |
| 室名札 | アクリル既製品 | 文字書込 |  |  |
| 天井改め口 | アルミ製　天井合板 | 図示 | ナカ工業、マンテン | 既設に倣う |
| 換気パイプ | 硬質塩ビ | Φ50 | 協和、IM | 防虫網付 |
| 救助袋 | 斜降式 |  | ヤマト消火器 | 位置は消防署と打合せ |
| EX.Jカバー | アルミ | 図示 | 日本アルミ | 責任施工 |

## 19. 外構工事

ネットフェンス　浄化槽廻りに施す(四周)　H:1800　扉1ヶ所 ($\overset{W}{900}$×$\overset{H}{1800}$) 施錠付
東京、川鉄、日鉄
自転車置場　既設自転車置場を係員指示の場所に移設する。床仕上等は既設に倣う。
グレイチング　出入口前、下足室前側溝に施す　400×1.000×40 (軽荷重用)
和歌山鋼業、ダイクレ、神戸製鋼

## 20. その他

既設建物ガラス入替工事　今回増築に伴い、既設建物で延焼のおそれのある部分(法第2条6項)に含まれる外部サッシュで網入ガラス以外のガラスは全て網入ガラス Φ6.8m/m に入替る事。

# 外部仕上表

屋上　均しモルタル@30　アスファルト防水9層の上　軽量コンクリート@60　タンピング、伸縮目地切
外壁　モルタル刷毛引きアクリル系リシン吹付
巾木　モルタル金ゴテ押へ G.L+450　G.L-150迄塗止
庇　ベニヤ仮枠打放しアクリル系リシン吹付
下足室ポーチ　モルタル金ゴテ押へ目地切
縦樋　硬質塩ビ Φ100(一般管)着色管　S.G.P Φ115, ℓ:1.800　地中部分陶管Φ100　カッパ　カラー鉄板28#
ドレン　竪型 Φ100 鋳鉄製

# 内部仕上表

|  | 床 | 巾木 | 腰 | 壁 | 天井 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 下足室 | モルタル金ゴテ押へ目地切 | モルタル金ゴテ押へ V.P |  | モルタル金ゴテ押へ E.P | プラスターボードt:9m/m 底目貼 E.P | スノコ、下足箱、傘立<br>床排水 |
| 教室 | ブナフローリングブロック O.S.W | 米桧 O.P |  | 仝上<br>桂ベニヤt:6m/m 底目貼E.P | ゴールデンナストンt:9m/m 底目貼 | 曲面、予定黒板、掲示板<br>教師用戸棚、背面黒板<br>児童用戸棚、その他図示 |
| 便所 | 磁器モザイクタイル25角 |  | 100角半磁器タイル | モルタル金ゴテ押へ V.P | アスベストラックt:6m/m 底目貼 V.P | 掃除具入、マンホール<br>便所仕切スクリーン |
| 洗面所 | アートフロアー | モルタル金ゴテ押へ V.P |  | 仝上 | プラスターボードt:9m/m 底目貼 E.P | 洗面流シ、カガミ<br>掃除具入 |
| 廊下 | アートフロアー<br>(センターライン巾70) | モルタル金ゴテ押へ V.P<br>米桧 O.P |  | モルタル金ゴテ押へ E.P<br>桂ベニヤt:6m/m 底目貼E.P | 仝上<br>(中央有孔プラスターボード) | ダストシュート、手摺<br>流シ |
| 階段室 | 仝上 | モルタル金ゴテ押へ V.P |  | モルタル金ゴテ押へ E.P | ベニヤ仮枠打放シ<br>パーライト吹付<br>プラスターボード底目貼E.P | 手摺、ノンスリップ<br>階数表示板 |

1

寝屋川市立和光小学校々舎増築工事 / 49年 7月 日
No. 1 / S:
特記仕様書　仕上表
株式会社 福永建築設計事務所　一級建築士登録 第234号 福永 薫